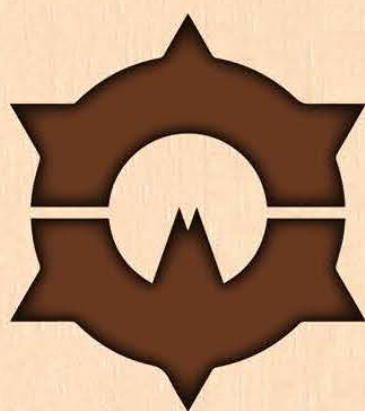


愛知県
東栄町



Toei Town Information Book

町勢要覧

I N D E X

キーワード：01

東栄町の魅力

- 03 豊かな自然
・星空 ・水 ・ホタル ・山
- 05 受け継がれる伝統
・花祭 ・志多ら ・伝統行事
- 07 東栄町ならではの遊び
・のき山学校 ・とうえい温泉
・チェーンソーアート発祥の地
・星空おんがく祭
- 09 東栄町 Guide Map
- 10 東栄町 Event Calendar
- 11 数字で見る東栄町
東栄町の名産・特産品

キーワード：02

東栄町の取組み

- 12 ひだまりプラザ
- 13 住み続けたいまち
【東栄町の教育】
・たんぼぼの会
【東栄町の福祉】
・おいでん家 ・ロコモ体操
- 15 これから住みたいまち
【移住定住対策】
・とうえい暮らしのカラフルパッケージ
・空き家バンク
【地域おこし対策】
・ホタルのさんぽ道 ・ぼたび
・東栄フェスティバル
・ビューティーツーリズム

キーワード：03

東栄町の過去未来

- 17 東栄町の歩み
【町民アンケート】
・まちの自慢・好きなおとこ
- 18 東栄町の目指す未来

面積の9割以上を山林に囲まれ
綺麗な川が流れる東栄町。
豊かな大自然に囲まれたこの町は
夜には満天の星に包まれ、
夏にはホタルが飛び交い、
ゆったりとした幻想的な時間が
流れています。



幸せを実感できる 最先端の田舎を 目指して

少子高齢化や、人口減少の急速な進行、景気低迷が長引く経済情勢など、私たちの生活や地方行政を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした社会情勢の変化を踏まえながら、「まちづくりの主役は住民」という考えのもと、『山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里』を将来像に、町民の皆様と力を結集し、ふるさとに誇りと愛着が持てる町の実現を目指しています。

また、「生まれ清まり」という思想を根底に行われる、国の重要無形民俗文化財の花祭は、700年以上にわたり受け継がれ、地域や町の活力に大きな役割を果たしています。

こうした古くから脈々と传承されている歴史や伝統文化、豊かな自然環境、住民の温かく素朴な人柄など、本町の魅力を最大限に活かし協働・共助のまちづくりを進め、「幸せを実感できる最先端の田舎」を目指し行政運営に取り組んでまいります。

この要覧を本町をご理解いただく一助として、ご高覧いただければ幸いです。

東栄町長 村上 孝治



国の重要無形民俗文化財であり
700年以上も続く

「花祭」をはじめとする
伝統文化を守りながら、
新たなイベントや体験施設、
移住定住対策に取り組む東栄町。
私たちの大切なこの町を
3つのキーワードに分けて
ご紹介いたします。



自然

Nature

満天の星空

山里ならではの、手を伸ばせば掴めそうな星の瞬き。

周囲を山に囲まれ、空気の澄んだ東栄町では、全国屈指の星空を見上げることができます。都会とは違う、山里ならではの星空は吸い込まれそうなほど鮮やかで美しく、手を伸ばせば掴めてしまいそうです。

星座のささやきに耳を傾けながら、天然の星空を心ゆくまで楽しむことができます。



60cm反射望遠鏡

6.5mドームの天文台にあるメインの60cm反射望遠鏡で宿泊の方を対象に観望会を開催しています。専門の職員が、その日の夜空をご案内します。



美しい水

山林に育まれた美しく良質な川が流れます。

清らかな水が流れる東栄町の川は美しく、「奥三河のナイアガラ」と呼ばれる、幅70m・落差約10mの滝「鶯の淵」や、県の天然記念物に指定されている「煮え淵ポットホール」「預り淵ポットホール」などがあります。

夏には鮎釣り大会が開催されたり、川遊びをしたりする人々の姿が見られます。



振草川のアユ

香りが良く、美形の振草川のアユは全国の河川のアユの味や香りを競う「清流めぐり利き鮎会」でも高く評価され、グランプリ1回、準グランプリを2回獲得しています。

東栄町を流れる振草川は水が綺麗で、岩盤が多くアユの好む良質なコケができるため香りのいいアユが育つのが特徴です。多くの釣り人が振草川のアユを求めて訪れています。

最近アユの感染症、異常気象など難しいこともありますが、これからも多くの方が遊びに来てくれるように東栄町の貴重な財産である振草川を守ってまいります。

振草川漁協

組合長

和合 克美さん(左)

副組合長

金澤 政弘さん(右)



Best Shot!



いろんな角度から楽しめる鶯の淵！

とうえい温泉の裏側にある展望台から眺めたり、川を挟んだ対岸の歩道から淵の近くまで降りて迫力を感じたり。

淵に降りる歩道からはこのように滝の全景を見ることができます。

#東栄の川 #鶯の淵
#奥三河のナイアガラ





関連記事
星空おんがく祭 ▶ P08



東栄町森林体験交流センター スターフォレスト御園

御園の天文台は街明かりの影響が少なく、高地にあるため、星の観察に絶好の場所です。

最大の特徴は宿泊型天文台であることです。朝まで時間を気にすることなく、満天の星の観察を楽しむことができます。



日常を離れて、山奥の天文台に来てみると、普段出会うことができない未知の体験が待っています。

それは、目の前いっぱい広がる満天の星かもしれませんし、見たこともない不思議な天体や自然現象かもしれません。人によっては、自然の中でゆったりと流れる穏やかな時間ですらも非日常的な体験かもしれません。

そんな体験をしてみたいという方は、ぜひ御園の天文台に遊びに来てください。



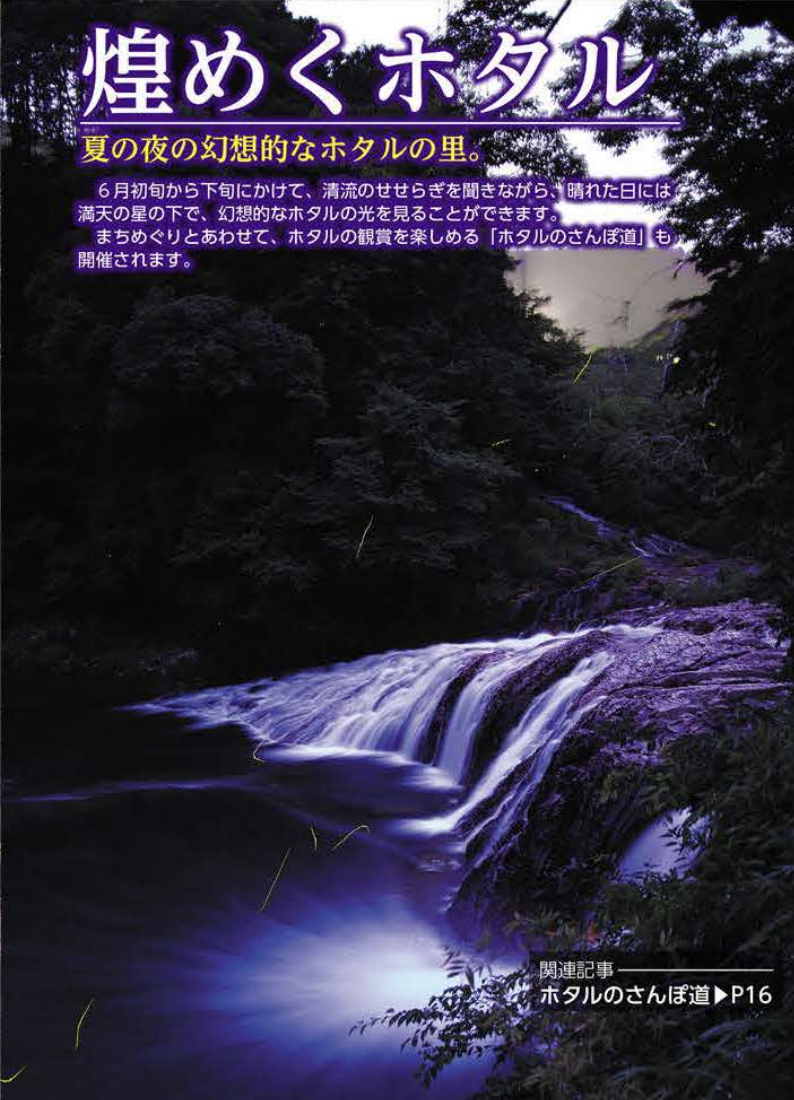
スターフォレスト御園
職員 神谷 純平さん

煌めくホタル

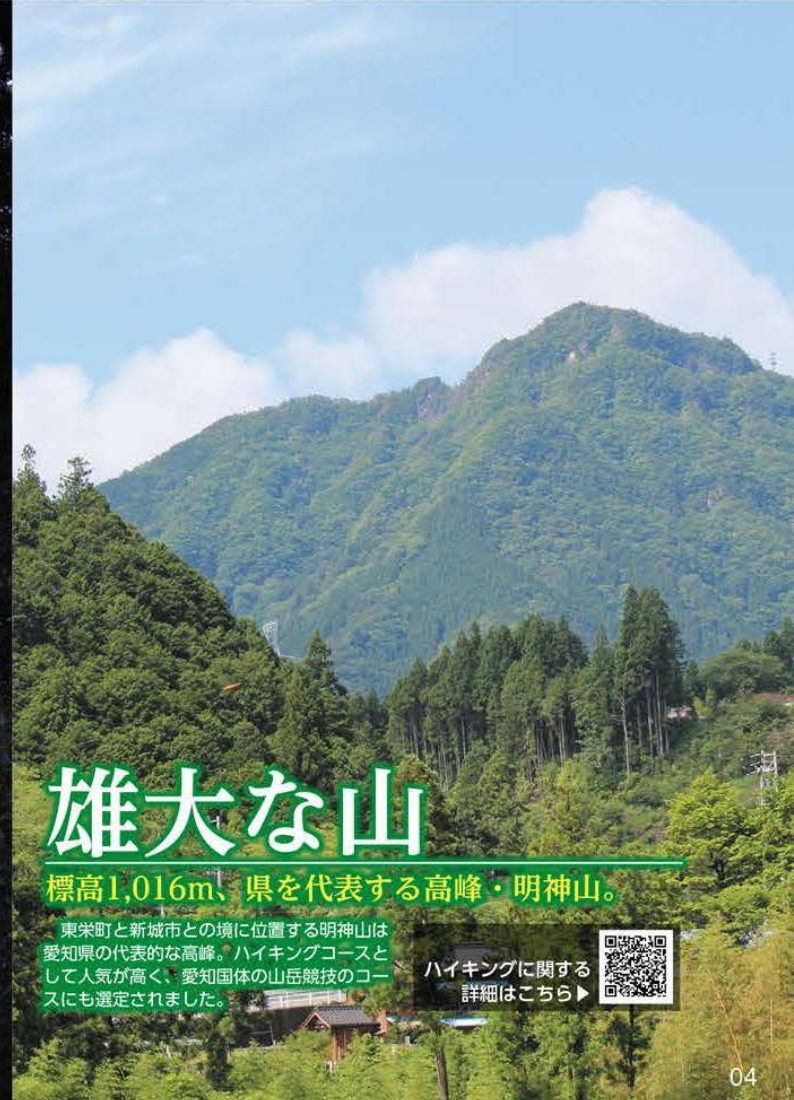
夏の夜の幻想的なホタルの里。

6月初旬から下旬にかけて、清流のせせらぎを聞きながら、晴れた日には満天の星の下で、幻想的なホタルの光を見ることができます。

まちめぐりとあわせて、ホタルの観賞を楽しめる「ホタルのさんぽ道」も開催されます。



関連記事
ホタルのさんぽ道 ▶ P16



雄大な山

標高1,016m、県を代表する高峰・明神山。

東栄町と新城市との境に位置する明神山は愛知県の代表的な高峰。ハイキングコースとして人気が高く、愛知団体の山岳競技のコースにも選定されました。

ハイキングに関する
詳細はこちら ▶



伝 統

Tradition

受け継がれる花祭

国の重要無形民俗文化財に指定される伝統的な神事

神人和合、五穀豊穡、無病息災を祈り、毎年11月から3月にかけて各地区で開催される「花祭」は、鎌倉時代から700年以上に亘り伝承されてきました。「て〜ほへ、てほへ」の掛け声と共に、数々の舞が夜を徹して行われます。



花祭部

花祭部は、今後花祭の継承を担っていく若手が、もっと花祭の運営・伝承について詳しく知るための機会やきっかけづくりを目的に運営している有志のグループです。舞や笛・太鼓等に限らず、わらじやしめ縄づくり等の作り手が減少している「地区を超えた共通の課題」に目を向けた取り組みもしています。

また、東栄フェスティバルのイベント会場では、衣装の着付け体験やざげちづくり等も行っています。花祭をあまり知らない方にとって祭と関わる入口となる取り組みです。また、体験入会を行うことで、祭の本番では練習することが難しい鬼の着付け作業などを反復練習することが出来るため、受け入れ側の勉強にもつながっています。今後も祭の継承には、様々な課題が生まれていきますが、それぞれができることに目を向け、活動していきたいと思えます。

花祭部
伊藤 拓真さん



和太鼓集団 志多ら

人を結び、いのち奏でて、伝統を舞う

凄まじいスピードで変化していく時代の中、大切にしていきたい想いがある。奥三河の地で生きた文化の礎に触れながら生まれる志多らの響き。それは、溢れんばかりのエネルギーと包み込むようなやさしさに満ち、日々の鍛錬と暮らしの中で、育まれていく感性により創造された本物の音。こころ動く瞬間を、こころ震わす感動を届けたい。

伝統と創造の先に志多らの目指す舞台がある。



つながろう！

愛知・希望の音(鼓動)inとうえい
和太鼓絆交流プロジェクト

県内の高校和太鼓部、東栄小学校和太鼓クラブ、志多らなどが演奏を通じて交流を深め、未来への希望を音(鼓動)にのせて響かせる、力強い演奏が楽しめます。



東栄町にお世話になり、35年となります。廃校となった旧東園目小学校を拠点とし、演奏活動を続けて参りました。花祭に導かれるようにこの地にやってきて、多くの先輩方にお世話になり、今に至ります。花祭を住民としても継承しながら、大切に受け継がれてきた芸能をもとに、舞台からメッセージを届けてゆきたいと活動しています。

志多らグループ
代表 大脇 聡さん





花祭会館

花祭に関する資料を収蔵・展示している。祭礼の保存に加えて伝承も目的とした施設であり、面、衣装、祭具が展示されているほか、映像資料も鑑賞可能。



数ある花祭一連の行事の中でも舞習いの雰囲気も大切にしたいものの一つです。子どもたちにとって公然と夜遅くまで友達と過ごせる貴重なひとときでありましょうが、大人と子どもが「舞い」という一つの型に向かって一緒に取り組み、言葉を交わし、身に触れ、交流できる数少ない機会でもあります。舞を通じて地域の子どもと大人の親近感が育まれることは紛れもない事実であり、これは地域が受け持つ家庭教育の重要な部分でもあると思っています。

小林花祭保存会
会長 小野田 博文さん



念仏踊り・手踊り (町指定無形民俗文化財)

お盆になると、鉦や太鼓の音に合わせて踊るハネコみや、東栄町が発祥の地とされる「おさま甚句」などの盆唄に合わせて踊る手踊りが各地区で行われます。



手筒花火

東三河に伝わる手筒花火は、「五穀豊穡や無病息災を祈り、火の粉を浴びながら上げる迫力満点の花火です。」

シカウチ神事(県指定無形民俗文化財)

鹿を田畑を荒らす害獣と見立てて、杉やアオキ葉などで形どった鹿を弓矢で射て、こうした獣害の追放を願う農民の信仰から生まれたものです。



白山祭り

山頂の神社で行われる祭典。地元ではこの祭りの「お珠の舞」が奉納されてからでないといふと花祭が始まらないといわれ、花祭の起源とされています。



遊び

Activity

のき山学校

新たな出会いとつながりを創造する
「みんなの学校」



旧東部小学校を交流施設としてリノベーションした「のき山学校」では、山里の自然や生活、文化、遊びが満喫できる楽しい企画が盛りだくさん。開設は東栄町、運営はNPO法人てほへにより行われ、地域内外住民の交流促進とともに観光の復興及び集落の活性化を目的に各種交流事業等を行っています。



のき山市

東部小学校時代の地域感謝祭「のき山市」の名前を受け継ぎ、毎年秋に2日から3日間、開催しているイベントです。
ライブあり、ワークショップあり、出店あり、と盛り沢山です。



東栄町体験交流館のき山学校

平成22年に閉校した旧東栄町立東部小学校を利活用し、地域内外住民の交流促進とともに観光の振興及び地域の活性化をはかる目的で生まれ変わった木造2階建の校舎です。

講堂、グラウンド、各教室では体験、カルチャー教室など様々な利用をいただける他、のき山学校主催の体験イベントでは、石窯での手作りピザ体験、和太鼓体験、木工体験などが楽しめます。

黒板をはじめとし、今では珍しい懐かしい風景が残る施設として、注目を集めています。

NPO法人てほへが東栄町より指定管理を受けております。



のき山学校
校長 富田 達郎さん(地域おこし協力隊)

ピザ石窯

ピザ窯はのき山学校となってから、NPO法人てほへのメンバーが手作りしました。各イベントでピザを焼いて食べた方も多いと思います。300℃で焼いたピザはとてもおいしいですよ。イベント以外にも毎月1から2回程度ピザづくり体験を行っています。



cafe のっきい

理科室を改装した店内は、教室の雰囲気が残る懐かしい趣で、見渡せる校庭の景色が素晴らしいです。学校給食セットも人気で、地元の方より受け継いだブルーベリー農園でとれたブルーベリーをふんだんにつかったスムージーや、日替わりの手作りケーキもお楽しみいただけます。のき山学校の守り神「のっきい」がキャラクターです。



東栄町図書室「のき山文庫」

カフェの奥に位置する文庫は、昭和の香りが残り、落ち着いた空間として人気です。小さなお子さんもくつろげる空間もご用意しております。



どろんこ遊び

地元の方のご協力により、田んぼでのどろんこ遊びは、毎年好評を博しているイベントです。





からだの芯からじんわり温まる やさしい泉質

とうえい温泉花まつりの湯は、年間約10万人の入浴者数を誇る東栄町最大の観光施設です。平成14年の開業から多くの方にご利用いただき、令和5年9月には累計入浴者数400万人を達成することができました。

施設のすぐ横に「鶯の淵」という大滝があり、野天風呂では滝音を聞きながら、夜になれば満天の星を眺めながら入浴を満喫することができます。上質な泉質を様々な湯舟で楽しむことができ、多くの入浴者の方を癒しています。

役場経済課
職員 岸 知之さん



とうえい温泉 花まつりの湯



「鶯の淵」の滝音を聞きながら、満天の星を眺めながら上質の温泉を満喫

肌にやさしく、じんわり身体が温まり保温効果が長く続く泉質で、多くの方から好評をいただいています。温泉内には、広々とした内湯や源泉湯などの風呂、サウナ、ジェットバスもあり、様々な湯舟を楽しめます。

チェンソーアート 発祥の地

大胆なパフォーマンスと繊細なアート

チェンソーアートとは、丸太をチェンソーで削ることによって作品を作りあげていく芸術です。2001年に日本で初めて「チェンソーアート競技大会」が東栄町で開催されたことから「チェンソーアート発祥の地」として、東栄町発の新しい芸術を全国に発信しています。

丸太から彫り込むダイナミックなアート

2019年のチェンソーアート大会出場がきっかけでチェンソーアートクラブに入会しました。

大きな丸太から切り出してチェンソー刃の当て方を工夫して思いどおりに作品が出来た時は嬉しいです。

世界チャンピオンからビギナーまで色々なクラブ員と一緒にチェンソーアートを楽しんでいます。

チェンソーアートクラブ東栄
メンバー 武者 公一さん



星空おんがく祭



星空と森、雄大な自然の中で開催する音楽イベント

町内の若者たちが中心となり、まちを盛り上げようと2012年に始まったイベントです。バンドやダンスグループによるパフォーマンスはもちろん、まちのグルメや体験などの出店も楽しめます。



人と町と繋がる手作りの音楽イベント

音楽の演奏だけでなく、お店や準備等様々な場面で東栄町を盛り上げたい人たちの思いが集まってくるところを年々感じています。コロナ禍を機に町外県外みなさんとの繋がりも増え、東栄町の魅力を知るきっかけにもなっているように思います。町民のみなさんはもちろん、どんな人でも来てみたらきっと楽しい…そんな器の大きいイベントを今後も目指していきたいです！

星空おんがく祭実行委員会
2023年度実行委員長 谷川 尚弘さん



設楽町

豊根村



1 スターフォレスト御園 ▶P04



2 鳶の淵 ▶P03



3 花祭会館 ▶P06



4 のき山学校 ▶P07



5 とうえい温泉 ▶P08



6 東栄ドーム ▶P08 (星空おんがく祭)

東栄町 MAP



煮え淵ポットホール



event calendar

5月

日本チェーンソーアート
競技大会 IN 東栄

振草川 鮎の友釣り解禁

6月

ホテルのさんぽ道

8月

山フェス in 東栄町

10月

星空おんがく祭

11月

東栄フェスティバル

東栄町文化祭

花祭 (小林、御園、東園目、
月、足込、河内地区)

12月

花祭 (中設楽、中在家地区)

1月

花祭 (古戸、下粟代地区)

2月

しかうち神事 (月、布川、
小林地区)

3月

しかうち神事 (古戸地区)

和太鼓「絆」交流プロジェクト

振草川 あまご釣り解禁

数字で見る東栄町

01 人口 (令和5年4月1日時点)

2,840人
(1,357世帯)



男性 1,380人
女性 1,460人

年齢別男女別人口構成



02 転入

76人/年

(令和4年度)

03 転出

66人/年

(令和4年度)

04 出生

6人/年

(令和4年度)

05 死亡

79人/年

(令和4年度)

06 人口の推移(昭和45年～) 国勢調査より



名産・特産品

豊かな自然と昔ながらの製法、磨き抜かれた技術が作り上げた東栄町ならではの特産品。



東栄町保健・医療・福祉複合施設

東栄ひだまりプラザ



保健・医療・福祉・介護が連携する地域包括ケアシステムの拠点

町の保健センター機能や診療所、行政の福祉部門、社会福祉協議会が入り、保健・医療・福祉・介護が連携した地域包括ケアシステムを担う拠点として、令和4年11月に開所しました。住民からの相談に各機関が連携して対応できる施設です。



診療所受付・待合



保健福祉センター・
社会福祉協議会



運動指導室



子育て支援センター

住み続け

未来を担う子どもたちを地域全体で育む

町のおちこちで自然に交わされるあいさつ。小学生の登校に同行してくださる見守り隊の皆さん。中学生に職場体験をさせてくださる事業者の方…。本町には、子どもたちを温かく見守り、応援する雰囲気が溢れています。そこには、「健やかに育てほしい」「ふるさと東栄の良いところを伝えたい」という、多くの人の願いがあります。

これからも学校と地域と家庭とが協力し合って子どもたちを育てるため、令和6年4月に「とうえいコミュニティスクール」を設置しました。これまでの取り組みや連携を十分に活かして一人ひとりを大切に育てるとともに、将来につながる人づくりを進めます。



学校教育

町内にある小学校1校、中学校1校はともに小規模校です。その特性を十分に活かし、一人ひとりに応じた学習指導や、子どもの置かれている状況を丁寧にとらえた生徒指導等、子どもの成長に最適な教育を推進しています。

小学校では、登下校や学校行事等を通じ、同学年だけでなく他学年の子どもとも多くの関わりを持ちます。学年を越えて、助け合い、学び合い、共に成長していく中で、互いを思いやる力や考える力など、多様化していく社会に必要な力を身に付けています。

中学校では、本町と国内外の地域との比較を通じ、ふるさと東栄を改めて学ぶ機会を設けています。こうした取り組みからの気づきが、生徒自身の将来を考える大きなきっかけにもなっています。



社会教育

いくつになっても学ぶことを楽しめるよう、特色ある生涯学習講座を開いています。スポーツや音楽をはじめ、伝統文化に触れる講座もあります。

参加した子どもたちが講師から熟練の技を学んだり、大人も子どもも一緒になって新しいことに挑戦したり。「見て見て!」「できたっ!」そうした声が教室中に響き渡っています。

講座には町内外の多くの方が講師として協力してくださっています。講座の参加者が、いつか講師となる日も来るかもしれません。生涯学習講座は、楽しく学ぶ場であると同時に、次の世代を担う人づくりにもつながっています。



町のみんなで子育てを

たんぼぼの会 代表 伊藤真里奈さん

小さな町では周りに人が少なく子育てでも孤立しがちですが、お買い物したり散歩したりしていると地域の方が「可愛いね」や「大きくなったね」とすぐに声をかけてくれます!!

また、子育てサークルや子育て支援センターと子育て環境が充実しておりママ友さんや同世代の子どもとふれあい、子育ての情報交換やおしゃべりなど親子で交流ができています。

子育て支援センターに遊びに行くと常に保育士さんがおり、悩んでいることがあるとすぐに相談ののってくれますし、保健師さんとも気軽にお話ができ、町のみんなが子どもたちの成長を喜んでおり、子育てを楽しくできています!!



たいまち

地域福祉の推進について

私たちは地域において、様々な問題や困りごとに日々向き合い、解決しながら生活しています。様々な課題に対して本町では、保健・医療・福祉分野の「支え合う健康福祉のまちづくり」の考えをもとに、分野を超えた連携と、町民相互の主体的な参加と支え合いにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現のために、地域福祉に関する様々な取り組みを推進しています。

ここでは、人と人が知り合い、親交を深める機会を得る活動の場「おいでん家」と運動機能の低下を防ぐための「ロコモ体操」活動を紹介いたします。



地域の笑顔集まる憩いの場

おいでん家支援員 亀山志津子さん

この日は、おいでん家に放課後児童クラブの子どもさん達が、楽しめるプログラムを考えて来てくれました。短い時間でしたが、笑い声と笑顔がいっぱいの時間で大盛り上がりでした。核家族化が進む中、高齢者との触れ合いにより様々な経験を得ることができたのではないのでしょうか。このように、老若男女を問わず交流と支え合いの場所になっています。小さな町だからこそできる取り組みだと思えます。参加者の方から一週間分笑い、元気をもらったといつも前向きな言葉をもらっています。

他の地区のおいでん家でも、町内のバスを利用してコンビニエンスストアに行ったり、五平餅づくりなどをしたり様々な楽しい活動をしています。町内の憩いの場として、これからも沢山の方に来てもらいたいです。



ロコモ体操で健康づくり

ロコモ体操 利用者 金指 旦夫さん 伊藤 久代さん



東栄保健福祉センターでは、毎月第2・4火曜日にロコモ体操を実施しています。体の柔軟性や筋力アップを目指し、身体機能を維持して要介護になる可能性を最小限にすることが目的です。参加者からは「ボールや音楽を使いながら普段使っていない体の部分を意識できます。背筋が伸びてよい姿勢を維持できます。」「強い運動ではないので負担なく続けられ日頃の体力が維持できます。皆さんに合っていると思います。」などの声が寄せられ充実した時間を過ごしています。年齢層は様々で、東栄町での生活を続けるために、自分らしい暮らしを維持するために健康づくりリーダーが考える様々なメニューを皆さんと楽しみながら実施します。

これから住

移住定住対策について

東栄町では、Iターン、Uターンだけでなく、この町で暮らし続けたい人を応援します。移住定住の施策を「暮らしのカラフルパッケージ」として組み合わせ、支援したり、空き家を活用するための空き家バンクを運用したりしています。また、移住や暮らしについて話ができる人を移住ソムリエに認定し、町民とのコミュニケーションを通して移住につなげ、移住者を仲間として迎える思いを共有しています。

暮らしのカラフルパッケージ

- 若者定住支援補助金 …… 40歳以下のIターン・Uターン者に補助金を支給します。
- 移住者通勤支援補助金 … 町外に通勤する方の通勤費用を補助します。
- 空き家活用支援補助金 … 空き家の修繕や片付けの費用を補助します。
- 定住促進支援補助金 …… 自宅を新築する方にお祝い金を支給します。



カラフル
パッケージ



空き家バンク

空き家バンク

空き家を売りたい、貸したい所有者と空き家に住みたい希望者をマッチングし、空き家の活用、定住につなげます。

東栄町で人生初を楽しむ

糟谷 成美さん・京子さん (2017年 千葉県から移住)

私たち夫婦は田舎暮らしに憧れ、縁あって東栄町に移住しました。

東栄町の魅力は歴史と芸能、温泉、豊かな自然、移住者に優しい人々と沢山あります。

私たちは東栄町の魅力の中で人生初の出会いがあり、生活が豊かなものになりました。

一つ目は日本蜜蜂の飼育と採蜜。蜜蜂を飼うことは難しいです。いつもミツバチの会の方々に教えていただき美味しいハチミツをミツバチ(君)から頂戴しています。

二つ目はアマゴ釣り、アユ釣り。ご近所のアユ釣り名人に手ほどきを受け始めました。ビギナーズラック以来アユ釣りの奥深さにはまり、夏の大千瀬川を満喫しています。

三つ目はパン屋の開業。パンを焼いてお客様にお売りする商売、接客も人生初です。

初めての体験は刺激が多く、私たちの生活を面白く楽しいものになっています。



東栄町は食の宝庫

藤田 忠志さん (2018年 豊橋市から移住)

母が亡くなったことをきっかけに、地元である東栄町に豊橋市から移住しました。現在は父、妻、息子の4人暮らしをしています。

2021年に奥三河バーベキュー協会を設立し、平日は会社勤め、週末は上級BBQインストラクターとして奥三河エリアを中心に、出張BBQやBBQ検定を開催しています。

東栄町は、アウトドアエリアが充実しています。さらに、振草川の鮎、錦爽鶏、鹿や猪等のジビエも手に入りやすい環境のため、BBQにとっても適した地域です。

今後は奥三河のみならず、東三河の食材を使用した「ご当地グルメBBQ」を展開し、今まで以上に東栄町の魅力を発信していこうと思います。

みたいまち

【暮らすように楽しむ～まちの資源を活かした観光～】

東栄町ではまちの資源を活かした、暮らすように楽しむ、まちの日常を味わうことができる取り組みが、観光まちづくり協会、商工会、事業者、住民の協働により行われています。

まちの資源を活かしたまちめぐりイベント「ホタルのさんぽ道」



初夏の夜のひととき、美しい川が流れる東栄町では幻想的なホタルの世界が広がります。

6月中旬に開催する「ホタルのさんぽ道」では、密を避けながらじっくりホタルを観賞できる「ホタルの奥座敷コース」、レンタルした提灯を片手にホタル観賞とまちめぐりを満喫できる「ホタルのさんぽ道エリア」と、趣きの異なる2つのホタル観賞エリアを楽しめます。

まちの有志による出展イベント「108（イチマルハチ）マーケット」も開催され、大いに賑わいます。



普段車で通らない道や場所を、自転車でのんびりとめぐると、そこには新たな発見がたくさんあります。まちをめぐりながらおやつを買って食べたり、川辺でコーヒーを淹れて飲んだり、素敵なひとときを過ごせました。

#とうえい自転車さんぽ
#ぼたび

自転車ならではの出会いをもとめて とうえい自転車さんぽ「ぼたび」



のんびりと自転車でまちをめぐる「ポタリング*」。

普段は通り過ぎてしまう道を自転車一本奥に入ってみる。地域の行事や石仏、地元の人との会話や美味しい食材、山、川などの里山の風景など、暮らしの中にある「東栄町ならではの魅力」との出会いが待っています。

観光まちづくり協会が実施している、電動アシスト自転車を活用したとうえい自転車さんぽ「ぼたび」では、「ぼたびガイドツアー」「レンタサイクル」など、「ポタリング旅」の楽しみ方の提案をしています。

*自転車ゆっくり散歩するようにゆったりと走ることを意味します

花祭シーズンの幕開け 「東栄フェスティバル」



毎年11月3日の文化の日に、花祭のダイジェスト版の披露、和太鼓集団「志多ら」による演奏、とうえい物産市などが行われる「東栄フェスティバル」が開催され、花祭をはじめとするまちのPRが行われます。



まちの資源を活かした 「ビューティーツーリズム」



町では全国的にも珍しい高品位のセリサイト（ファンデーションの原料となる鉱物）が採掘され、町内産のセリサイトを活かした手作りコスメティック体験「naori（なおり）」が行われています。この「naori」をはじめ、「美」に関する「食事」「食材」「温泉」「体験」などをテーマとしたプログラムの提供を「ビューティーツーリズム」と呼び、観光まちづくり協会、事業者等の連携により、運営体制づくりに取り組んでいます。



東栄の自慢・好きなところ

Q 東栄の自慢・好きなところを教えてください

★700年以上の伝統を誇る花祭！



★澄んだ空気ときれいな川

★田舎ならではの人のつながり

★無数の星が広がる夜空

★空高く舞うホタル

★何回でも食べたくなる東栄のグルメ

★夜の静けさと星空に癒される

★体の芯まで温まる東栄の温泉が最高！

★隠れたスポット、魅力がまだまだいっぱい！

★自然と触れ合いながら子育てができる






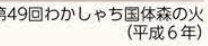

★鮎の友釣りやひっかけが楽しみ！

★振草川の鮎は絶品！

★昼間も静かなので鳥のさえずりが心地良い



1955 東栄町の歩み 20

- | | | |
|-------|--|---|
| 昭和30年 | 御殿村・本郷村・下川村・園村が合併し、東栄町が誕生 | |
| 31年 | 三輪村・振草村の一部を合併
三河長岡駅を東栄駅に改名 |  |
| 32年 | 公募により町章・町歌・小唄・音頭を制定
現在の位置に役場庁舎が完成 |  |
| 36年 | 東栄病院を開設 | |
| 49年 | 中央簡易水道建設事業が始まる | |
| 50年 | 新東栄中学校開校 | |
| 51年 | 花祭が国指定重要無形民俗文化財指定 | |
| 53年 | 本郷大森に花祭会館がオープン | |
| 56年 | 全国町村会で優良町村として表彰される
国道151号のバイパスとして駒久保トンネルが開通 | |
| 60年 | 公募により町旗の旗地及び町章の色を決定、町の花・木・鳥を制定
観光フェスティバル開催 | |
| 62年 | 新本郷トンネルが貫通
環境庁の「星空の街」に選定される |  |
| 63年 | 煮え淵と預り淵のポットホールが県の天然記念物に指定される | |
| 平成 元年 | 公募により町のキャラクターマークを決定
商工会主催による第1回星空コンサートを開催 | |
| 2年 | 公募によりキャラクターマークの愛称を「オニスター」に決定 | |
| 3年 | 東栄駅の駅舎が「ふるさと文化交流館」に生まれ変わる | |
| 6年 | スターフォーレスト御園、東栄ドームがオープン |  |
| 10年 | 国道151号中設楽バイパスが開通 | |
| 11年 | 国道473号御殿橋・千代姫橋が開通する | |
| 13年 | 第1回日本チェンソーアート競技大会・東栄を開催 | |
| 14年 | とうえい温泉、介護予防センターがオープン | |
| 17年 | 町制50周年記念式典を挙行 |  |
| 18年 | 町の地域再生計画が国に認定される | |
| 21年 | 国道151号三輪バイパスが開通 | |
| 24年 | 三遠南信自動車道鳳来峡IC～浜松いなさ北ICが開通
にこにこ広場（子育て支援センター）の本格運用を開始
第1回となる星空おんがく祭2012を開催 |  |
| 25年 | 東栄小学校の新校舎が開校 | |
| 27年 | 東三河広域連合発足
のき山学校に図書室、カフェスペースをオープン |  |
| 令和 4年 | 医療・保健・福祉の拠点「ひだまりプラザ」開所 | |
| 5年 | とうえい温泉入浴者数400万人達成 | |

目指す未来

東栄町第6次総合計画（平成28年度～令和7年度）

暮らし続けられるまちを未来につなぐこと

「山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」

～幸せを実感できる最先端の田舎を目指して～

計画に基づく事業実施と行政評価に基づく事業見直しを行い、SDGsとの関係性を明確化しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 支えあう健康福祉のまちづくり



- 総合的な窓口機能の整備
- 健康づくりの推進
- 地域医療の確保
- 子育て支援サービスの充実
- 地域包括ケアシステムの推進
- 多様な福祉サービスの提供 など

2 豊かな文化と心を育むまちづくり



- 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進
- 連携教育の推進
- 子どもの居場所づくり
- 生涯学習の充実
- 伝統文化の継承
- 人権尊重の推進 など

3 安全・安心に暮らせるまちづくり



- 町民・行政が一体となって行う防災まちづくり
- 防犯対策の推進
- 安全な交通環境の整備
- 町土保全のための環境づくり
- 施策と連動した土地の利活用検討 など

4 環境と暮らすまちづくり



- ごみの排出量の削減
- 環境美化活動の推進
- 公害の防止
- 安定した水の供給と施設整備
- 下水道、農業集落排水の長寿命化 など

5 活力のあるまちづくり



- 農用地の保全
- 振草川鮎を活用した地域内経済循環
- 事業存続と起業等に対する対策
- 林業従事者の確保・育成
- 地域資源を活用した利益を生み出す仕組みづくり など

6 定住・交流を支えるまちづくり



- 暮らし続けるための支援
- 町道の整備と適正な維持管理
- 暮らしを便利にする公共交通
- 時代に即した計画的・戦略的な情報基盤整備 など

7 協働によるまちづくり



- まちづくりへの参加機会の確保
- 地域づくり活動への取組
- 町政に関する情報提供
- 公共施設の適正な管理・運用
- 多様な地域連携の推進 など



アクセス



東栄町章



形は末長く栄える亀を表し、外輪と6つの角は旧6カ町村の融和を象徴し、全体は東、栄の2字を図案化したものです。
 円内の山形は山の町を表し、その頂が中心より高くなって、秀でた町となることの意をもっています。

キャラクターマーク「オニスター」



鬼が舞う国指定の重要無形民俗文化財「花祭」と満天の星空の里、東栄町に生まれた700歳の男の子です。手にはまさかりを持っており、腰には星が付いています。花祭と東栄町を多くの皆さんに知ってもらえるよう頑張っています。



Instagram

町の花

やまゆり



町の木

杉



町の鳥

うぐいす



東栄町役場

〒449-0292
 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25番地
 TEL : (0536)76-0501 / FAX : (0536)76-1725
 URL : <http://www.town.toei.aichi.jp/>



ホームページ



LINE



X(旧: Twitter)



Facebook